

公認アシスタントマネジャー資格の概要

資格名	公認アシスタントマネジャー			
養成目的	総合型の地域スポーツクラブなどに必要なマネジメントの基礎的知識を有する人材を養成する。			
役割	総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブマネジメントの諸活動をサポートする。			
受講条件	受講年度の4月1日現在20歳以上の者			
カリキュラム	共通科目：共通科目Ⅰ（通信講座）		35h	
	文化としてのスポーツ		3.75	
	指導者の役割Ⅰ		5	
	トレーニング論Ⅰ		3.75	
	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ		7.5	
	スポーツと栄養		2.5	
	指導計画と安全管理		3.75	
	ジュニア期のスポーツ		5	
	地域におけるスポーツ振興		3.75	
	専門科目：集合講習14h、通信講習21h		35h	
	地域スポーツクラブとは	3 (4.5)	()	内は 自宅学習 時間数
	地域スポーツクラブの現状			
クラブマネジャーの役割	3 (4.5)			
クラブのつくり方	8 (12)			
クラブの運営				
登録・認定	講習・試験をすべて修了し、所定の登録手続きを完了した者を「公認アシスタントマネジャー」として認定する。（有効期限4年間）			
更新義務研修	資格登録期限が切れる6ヶ月前までに、最低1回は、日本体育協会が定める研修を受けなければならない。			
共通科目免除	本会公認スポーツ指導者（スポーツドクターを除く）資格を有する者、又は免除適応コース修了証明書を有する者は講習・試験のすべてを免除する。			
専門科目免除	<p>文部科学省と総合型地域スポーツクラブ育成協議会が平成12年度から17年度にかけて実施した「総合型地域スポーツクラブマネジャー養成講習会」修了証を有する者</p> <p>※検定試験は受検いただき、合格する必要があります。</p>			